

# 平成30年度 指定管理者評価表

【別紙5】

施設名：市民公益活動支援センター

指定管理者名：NPO法人はぴえる

## 1. 個別評価

評価項目	評価の視点	自己評価	市評価
サービスの提供	施設の設置目的に沿って平等利用が確保されたか。	A	A
	施設の設置目的に沿ってサービスを提供しているか。	A	A
	利用時間、利用日、利用期間は遵守されているか。	A	A
	利用者に対する情報提供、情報発信は適切か。	A	A
	利用の承認、案内等は適切かつ迅速か、また接遇は適切か。	A	A
	利用者のニーズを把握し、改善、工夫を行っているか。	A	A
	施設の利用率は適正な水準にあるか。	A	A
	苦情等の対応は迅速かつ適切か、また市に迅速に報告しているか。	A	A
	指定管理者が行った自主事業は、市民サービスの向上に役立ったか。	A	A
施設等の維持管理	不具合が生じた場合の市への報告は適切か。	A	A
	建物躯体及び設備機器の点検・保守、安全確認等は適切か。	A	A
	修繕は適切か。	A	A
	備品の管理は適切か。	A	A
	清掃、警備、衛生管理は適切か。	A	A
労務状況	サービス提供及び施設の維持管理のため、計画どおり適正な人員が配置されているか。	A	A
	勤務体制、勤務者の休暇、休憩等の取得が適正か。	A	A
	必要な専門的資格、技術を有する人材を確保しているか。	A	B
	従業員に対して、計画的、効果的な人材育成を行っているか。	A	A
危機管理	労働諸法を遵守しているか。	A	A
	緊急時に備えた、体制、対応マニュアル、研修・訓練等は適切か、また、防火、防犯体制の整備、研修、訓練等は適切に行われているか。	A	A
	災害、事故、盗難等の発生時に迅速な対応ができる組織体制と連絡体制になっているか。	A	A
個人情報	利用者の安全は確保されているか。	A	A
	個人情報保護のための体制、書類等の整備・保管、問い合わせ等への対応、研修は適切か。	A	A
	個人情報保護及び情報公開に関する関係法令を理解しているか。	A	A
財務状況	万が一、個人情報流出した場合の対応が検討されているか。	A	A
	管理に要する収支は適正に保たれているか。	A	A
	支払いの遅滞は生じていないか。	A	B
	使用料、利用料金収入は計画どおりか。収入の増加が図られているか。	A	A
	現金は適正に取扱われているか。	A	A
	経費は縮減されているか、または、縮減に向けての努力がされているか。	A	A
その他	業務を外部委託している場合、その業務は施設管理の主要な部分以外であるか、過度に外部委託にシフトしていないか。	A	A
	省エネルギー、省資源、環境配慮物品等の購入など環境への配慮はなされているか。	A	A
	良好な関係を保つべき関係団体や地域との連絡調整は適切か。	S	S
	管理に要する法令は適正に遵守されているか。	A	A
	市との定例の連絡調整の機会が確保されているか。	B	B
事業計画書（申請時）および年間事業計画書どおりに管理がなされているか。	A	B	

### 評価欄の説明

- S：協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
- A：協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
- B：協定等を遵守し、概ね仕様書に沿った管理が行われたが、一部に課題がある。
- C：一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

## 2. 収支報告

単位:円

		事業計画A	事業実績B	A-B	前年度実績	備考
収入	利用料金収入	500,000	424,090	75,910	423,740	
	自主事業収入			0	34,560	
	物品販売収入			0		
	手数料収入			0		
	指定管理料	11,571,000	11,571,000	0	11,521,000	
	その他収入			0		
	<b>収入総額</b>	<b>12,071,000</b>	<b>11,995,090</b>	<b>75,910</b>	<b>11,979,300</b>	
支出	人件費	7,700,000	7,079,789	620,211	6,972,373	
	事務費	1,024,000	954,166	69,834	851,310	
	管理費	482,000	337,932	144,068	346,248	
	ソフト事業経費	1,110,000	1,054,091	55,909	1,033,476	
	光熱水費	700,000	639,586	60,414	663,107	
	リース料	955,000	803,146	151,854	396,406	
	その他	100,000	543,130	(443,130)	522,140	
	<b>支出総額</b>	<b>12,071,000</b>	<b>11,411,840</b>	<b>659,160</b>	<b>10,785,060</b>	0
<b>収支差額</b>	<b>0</b>	<b>583,250</b>	<b>(583,250)</b>	<b>1,194,240</b>	0	

## 3. 総合評価

## 自己評価

今年度の重点目標は、新たな団体と現役世代の発掘と、SDGsの普及。  
 河内長野市文化振興財団、河内長野市社会福祉協議会との協働事業としてのボランティア入門講座の開催により、SDGsを切り口とした新たなアプローチができた。高校生の積極的参加による高齢者のモチベーションアップが見られた。  
 学生インターンシップを受け入れ、学生による体験プログラムの取材や、美加の台夏休みキッズスクール内でのプログラムの企画と実施により、現役世代の発掘の取り組みが前進した。  
 ホームページ・ブログ作成の講座を開催し、パソコン関連の団体を巻き込んだ事業へとつなぐことができた。  
 南河内のつどいとして大阪大谷大学の学祭に出展し、各市の支援センターや団体の紹介、SDGsの啓発ができた。  
 SDGsに先駆的に取り組んでいる滋賀県の大津市市民活動センターとSDGsフェスタを見学し、今後の方向性など新たな情報を得ることができた。  
 SDGs関連の講座・ワークショップに数多く出席し、より広範囲なネットワークを築くことができた。

## 市評価

今年度は、河内長野市文化振興財団、河内長野市社会福祉協議会との協働事業であるボランティア入門講座でテーマとしてSDGsを取り上げたことによる普及啓発や、SDGsを切口に学生世代へのアプローチした点は評価できる。  
 一方で、就業規則の遵守や会計面という点では改善が必要である。加えて、期限管理・校正等、事務局スタッフの円滑な事務遂行を出来るような体制づくりの構築を進めてもらいたい。